

Title	中央公論
Author(s)	
Citation	OUFCブックレット. 2018, 13, p. 67-75
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/71864
rights	
Note	

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

中央公論

1号 (『反省會雑誌』1887.8) ~ 現在, 東京: 中央公論社
1976年1月号~1982年12月号
大阪大学附属総合図書館 (調査: 和田英男, 2018年5月)

1976年新年特大号

流民の記憶 中国の旅第三回 (司馬遼太郎)

1976年新春2月特大号

特別寄稿 “対ソ緊張下”の中国軍事情報報告 フォード訪中随行者
が分析する核ミサイル戦略 (プリンクローロジャース)

孔丘の首 中国の旅第四回 (司馬遼太郎)

1976年3月号

人物交差点 鄧小平／竹下登／新藤兼人／北島忠治 (光)

「新太平洋ドクトリン」と中ソ冷戦 深まる中ソ対立下国際政治の新しい波を透視する (中嶋嶺雄)

周恩来の遺産と革命第二世代 宰相型権力の巨大な空白から, 何が生じてくるか (竹内実)

【雑談・世相走馬燈】人間周恩来の魅力語る 不世出の英雄を理解したつもりでいても, しょせん「群盲象をなでる」のようなもの (貝塚茂樹, 陳舜臣, 三田村泰助)

洛陽の穴 中国の旅第五回 (司馬遼太郎)

1976年4月号

周以後から毛以後へ 鄧小平は失脚か。中国に渦巻く政治気流を解析! (柴田穂)

桃中軒牛右衛門の“夢”は悪いのか: 中国大使館にダメを出された演出家の不満の部分 (木村光一)

琉璃廠の街角で 中国の旅第六回 (司馬遼太郎)

1976年5月特大号

北京の桐の花 中国の旅第七回 (司馬遼太郎)

1976年6月号

毛沢東の最後の賭け 天安門の騒ぎはなぜおこり、どう処理されたか? (森田明彦)

【対談】火祓教と中国文化：唐経由で日本に伝わったペルシャ文化の陰には、ゾロアスター教の匂いがたちこめている (石田幹之助, 松本清張)

伝国の書物 中国の旅第八回 (司馬遼太郎)

1976年7月号

北京の人々 中国の旅最終回 (司馬遼太郎)

1976年8月特大号

「毛以後」の始動 (村松暎)

北京の晴舞台で田中角栄は何を見たか 米中の現実外交の中で踊らされた“早すぎた首相” (田原総一郎)

1976年9月特大号

新毛沢東論 (村松暎)

再構成 天安門事件 (中嶋嶺雄)

【革命秘録】私は広東省の農村工作隊員だった：土地革命と人民裁判の実態 (秋山良照)

1976年10月号

なし

1976年11月特別号

正統・毛思想はいかにして作られるか (中村公省)

毛沢東の変身 (貝塚茂樹)

【鼎談】中国現代史と日本人：「成功したアナーキスト」毛沢東が指導した革命中国は、既成の政治観念では測り得ぬ (開高健, 橋川文三, 萩原延寿)

革命第二代はどこへゆくか：巨大な革命化を喪った今、若い世代はそ

のエネルギーを何に向けるのか（竹内実）

鍵を握る人民解放軍の内幕 武力衝突はありうるか。人脈とその勢力を解明し時代の指導者群に迫る（鹿沢剛）

【評伝】人民中国のプリンス王洪文（丁望）

【独占特報】周恩来国際情勢に関する秘密演説（解説・訳：南道明）

中国棒球事始め工作日誌：米中接近，国技にベースボールを採用した心意気（鈴木陽一）

【特別付録】中国重要人物一覧図（資料提供：南道明）

1976年12月号

【座談会】人民中国の悲劇とその波紋：いま何が起こっていて，その趨勢はどこへ（竹内実，永井陽之助，中嶋嶺雄）

毛沢東路線の原型：四川省の農村で整風運動の工作員として見聞した貴重な体験を綴る（秋山良照）

鄧小平語録：文革派に公然と敵対してきた男の言動を追うと政変が浮かび上がる（東京外国語大学現代中国研究会）

汪東興と八三四一部隊：毛沢東を護衛していた男が掌握している異常な武力の謎を追跡する（犬養総一郎）

1977年新年特別号

【座談会】米中ソ'77の知られざる国際戦略（外信部記者）

1977年新春2月特別号

【評伝】華国鋒の秘められた履歴：江青らを駆逐し，大権を握った男の謎を追う（丁望）

1977年3月号

無告の民「華僑」：激動する東南アジアの中でなぜ，蔭の実力者といわれ，白眼視されるのか（戴國輝）

鄧小平の実力：中国をまとめてゆける唯一の人といわれるが（森田明彦）

毛・周二つの葬儀に見た愛と憎 毛沢東は思想を周恩来は夢を残して逝ったが（松井やより）

1977年4月号

なし

1977年5月号

【座談会】米中ソの東北アジア外交を解説する（外信部記者）

鄧小平復活の謎を解く：二度目の失脚からも復活しえた男の政治基盤
（丁望）

1977年6月号

手記・北京の紅衛兵：十年目の証言 現代中国の進路を変えた紅衛兵の
中枢にいた筆者が謎に包まれたその実態を明らかにする（杜光）

1977年7月特別号

人物交差点：符浩／尾鍋輝彦／早坂順一郎／江川卓（京）

中米関係についての講話〈要旨〉（耿飈）

1977年8月特別号

なし

1977年9月特別号

華国鋒政権下三大派閥の暗闘：鄧小平が復活しても政争はますます激
化する（丁望）

【鼎談】中国の軍事力を見て：日本の軍事専門家に門戸を開いた理由は
（海原治，永末英一，法眼晋作）

1977年10月特別号

現代中国の人民裁判傍聴記：拷問と苦役の収容所からただ一人脱走し
えた筆者が，解放されたはずの社会の惨状を暴く（大野正男）

1977年11月特別号

辺境の中国を行く：中ソ紛争の地・新疆ウイグル自治区旅日記抄（山本
満）

1977年12月特別号

なし

1978年 新年特別号

人民中国ハルビン第十六中学就学記（西条正）

1978年新春2月号

香港よいとこ（村松暎）

一億七千万人の受験戦争：十億前後の歴大な人口の圧力が，近代化への
道の“決定的要素”となった（竹内実）

えられるか（竹内実）

小説 北京のひとり者 文革を実体験した新進女流作家が描く、中国知識人の喜びと悲しみ（陳若曦）

1978年11月号

評伝・鄧小平 世界的に偉大な実際家が日本にやってくる。その闘いの日々と風貌。（竹内実）

単独会見記 人民服の溥傑球満州国皇帝 日中の狭間で流転の人生を余儀なくされた七十年余をひそかに語る（横堀洋一）

1978年12月号

なし

1979年新年特大号

防衛戦略としての日本外交（中嶋嶺雄）

1979年2月特大号

国際政治における文化と権力（入江明）

太平洋を越えた親和力（中嶋嶺雄）

中国を開く力の行方（竹内実）

八十年代アジアの安全保障（ケネス・ハント）

1979年3月特大号

なし

1979年4月号

覇権の連鎖反応（永井陽之助，中嶋嶺雄，矢野暢）

中国の尻尾，ベトナムの尻尾（伴野朗）

中国で忠臣蔵がうけたわけ（野口達二）

1979年5月号

暗影としてのナショナリズム（竹内実）

世界史の中のアジア（吉本隆明）

北京の小澤征爾（萩本晴彦）

カルダン中国を語る（P・カルダン）

1979年6月特大号

中越戦争以後の「赤い決闘」（フランソワ・ミソフ，矢野暢）

1979年7月号

魯迅のなかの日本人（岡田英弘）

北京・重慶・西安への旅（下河辺淳）

1979年8月号

人物交差点 彭真／小和田恒／上田三四二／金沢明子

脱アジアのすすめ（矢野暢）

中国の日本語教室見聞記（金田一春彦）

1979年9月特大号

中国の旅・武漢から（前田常作）

モスクワ対北京：終わりなき闘い（マーク・ゲイン）

1979年10月特大号

混乱と不安の中国（マーク・ゲイン）

1979年11月特大号

中国であえて行なった四つの近代化批判（西村肇）

文明の“再鑄造”をめざす中国（中嶋嶺雄）

中国近時雑感（宮川寅雄）

中国四千年の課題（今堀誠二）

革命二十五年の実感（貝塚茂樹）

1979年12月特大号

中国人養父を探して十五年（西条正）

1980年新年特別号

日本・中国・米国 八〇年代の経済的展望（大来佐武郎）

中国における人間の要素：人口・人材・人権（竹内実）

1980年2月特大号

太平洋横断連携は実現するか（ロス・テリル，中嶋嶺雄）

1980年3月特大号

中国人はなぜ日本に無関心なのか（岡田英弘）

1980年4月特大号

日中問題と日韓問題（岸信介，矢吹一夫 [構成：伊藤隆]）

1980年5月特大号

座談会 漢文明の奥地を探る（岩田慶治，梅沢忠夫，白鳥芳郎）

1980年6月特大号～9月号 なし

1980年10月特大号

中国よ、今こそ文化大革命を（中嶋嶺雄）

1980年11月特大号

香港の挑戦（邱永漢）

1980年12月特大号

北京の春（ドナルド・キーン）

日本を愛した中国人（岡田英弘）

1981年新年特大号

随筆 中国の道（鈴木健次）

見て来た中国の労働者自主管理（山内一男）

夫・賀竜は四人組にこうして消された（薛明）

四人組裁判 断罪される文革“戦犯”（江頭数馬）

1981年2月特別号

モスクワで北京を考える（竹内実）

1981年3月特大号 なし

1981年4月特大号

日中経済協力をどう調整するか(大来佐武郎[インタビュー:岡田臣弘])

地下出版物で読むもう一つの中国（訳・解説 地勢丹）

中国病に根本治療はあるのか（岡田英弘）

人民中国崩壊の兆候（矢吹晋）

接合の論理 推理・林彪四人組事件（松本清張）

イリ十日記：天山北路の諸民族たち（司馬遼太郎）

1981年5月特大号 なし

1981年6月特大号

中国電台事情：テレビ，シルクロードを行く（鈴木肇）

1981年7月特大号 なし

1981年8月特大号

